

第37回企画展

「蔵書」の世界

— 広がる書物と在村文化 —

平成29年1月28日(土)～3月12日(日)

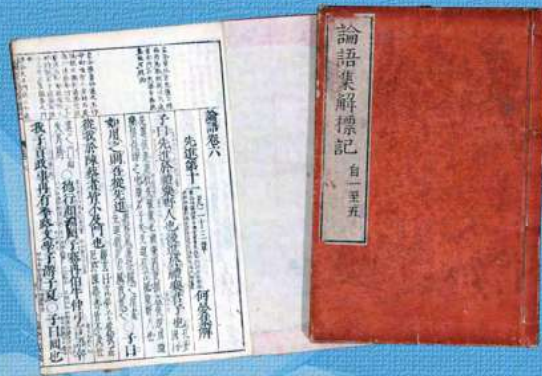


● 担当学芸員による展示解説会

第1回 2月5日(日)午後2時～3時

第2回 2月18日(土)午後2時～3時

※見どころを分かりやすく解説する「音声ガイド」を随時貸出します(無料)。



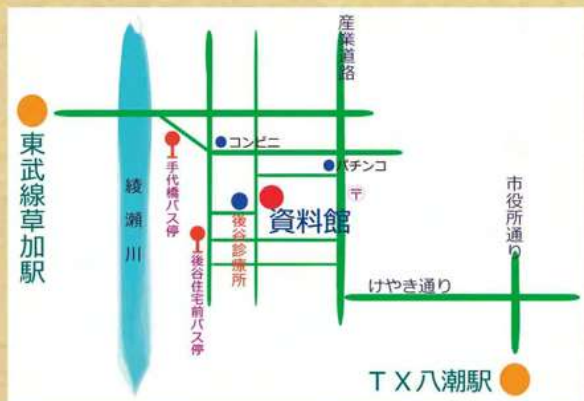
第37回企画展 「蔵書」の世界—広がる書物と在村文化—

江戸時代は出版業や貸本屋が活発化した、いわば読書ブームの時代でした。その理由は、それまでは写本が中心であったのに対し、江戸時代は刊本が中心になったことで、難字にふりがな、挿絵が自在に配置できるなど自由な紙面構成が魅力となり、読者が急激に増えたことにあります。特に18世紀後半以降、村役人、あるいは文化的サークルにおける貸借などにより、農村において多くの書物が普及しました。その内容は、農書、飢きんの救済書などの実用書から、文芸書、往来物、医学書、俳書、詩歌集と多岐に及びます。さらに、村々では歴史書、由緒書、地誌などの編纂物も作成されました。これらは「蔵書」として家に蓄えられ、貸借されることで村政・地域運営などに役立てられたほか、娯楽として楽しまれ、在村文化を発展させました。

市内にも蔵書を持つ家が多く存在します。本企画展では、そのような家々に残された蔵書にスポットをあて、人々がどのように書物を手にし、どのような書物を読み、知識を獲得し、そして在村文化が花開いていったのかをご紹介します。



慶安太平記
明治14年(1881) 当館所蔵



●アクセス● 東武スカイツリーライン草加駅東口より徒歩25分／東武スカイツリーライン草加駅東口よりバスで手代橋バス停下車、徒歩5分／つくばエクスプレス八潮駅北口よりバスで後谷住宅前バス停または南後谷バス停下車、徒歩3分

展示構成

壱 いざ、本の世界へ

出版文化のおこり
さまざまな和本文相と出版物

弐 八潮に広がる本の文化

「書林」の世界
巡回文庫がやってきた
村の中での本たち

参 濱野家の蔵書

「馬場の家」
村役人として、文化人として



担当学芸員による展示解説(全2回)

- 第1回 平成29年2月5日(日)
午後2時～午後3時
- 第2回 平成29年2月18日(土)
午後2時～午後3時

※事前申し込み不要

八潮市立資料館

〒340-0831 埼玉県八潮市大字南後谷763番地50 ☎048-997-6666
開館時間：午前9時00分～午後5時00分
休館日：月曜日(祝日の場合は閉館) 祝日の翌日

入館無料